

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ BLACK BORDERS

☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☒ FADED TEXT OR DRAWING

☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

(54) AUTOMATIC PASSWORD ADDING AND PROCESSING SYSTEM

(11) 63-201862 (A) (43) 19.8.1988 (19) JP

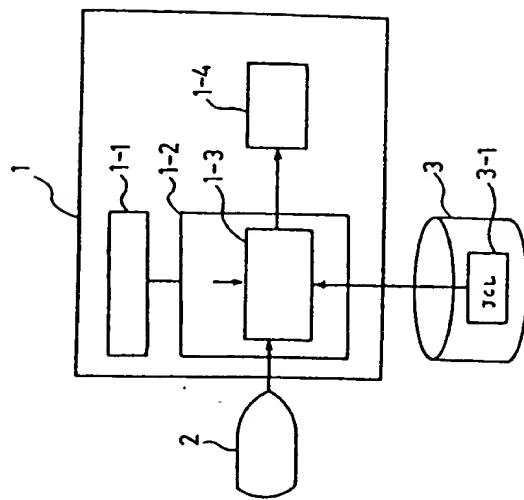
(21) Appl. No. 62-35321 (22) 18.2.1987

(71) FUJITSU LTD (72) TOKUO MAYAHARA(1)

(51) Int. Cl.⁴ G06F15/00, G06F9/06

PURPOSE: To prevent a bit of information including a password concerned from being undesirably displayed on a display by automatically adding the information including the password on a job control language in a data processor.

CONSTITUTION: A job is charged initially by inputting a SUBMIT command from a TSS terminal 2. At this time, the job control language (JCL) of the job to be SUBMITTED is a partly deficient JCL and a user name and the password are not described. Then, said JCL is delivered to a job input processing part 1-4 by a SUBMIT command program 1-3, however, when said JCL is the partly deficient JCL, the user name and the password declared at the time of opening a section by a TSS user are read from a password holding part 1-1 and added to the JCL. Then, in a processing part 1-4, a job environment is formed based on the delivered JCL and executed as the job.



1: data processing system, 1-1: TSS user name and password.
1-2: TSS control program

③ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭63-201862

⑪ Int. Cl.⁴

G 06 F 15/00
9/06

識別記号

3 3 0

庁内整理番号

7361-5B
B-7361-5B

⑬ 公開 昭和63年(1988)8月19日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 パスワード自動付加処理方式

⑮ 特 願 昭62-35321

⑯ 出 願 昭62(1987)2月18日

⑰ 発 明 者 馬 屋 原 篤 雄 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑱ 発 明 者 小 宮 山 孝 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑲ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑳ 代 理 人 弁理士 森 田 寛 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

パスワード自動付加処理方式

2. 特許請求の範囲

利用者個々のデータセットあるいは複数の利用者から共用されるデータセットに対して、保護対象資源名と当該データセットにアクセスする資格を有する利用者名と利用者パスワードとが少なくとも登録されると共に、ジョブが上記データセットにアクセスするに当たって、当該ジョブのジョブ・コントロール・ランゲージに記述されているパスワードを含む情報によって、上記登録されている利用者パスワードを含む情報との一致をチェックするよう構成されているデータ処理装置において、

端末利用者が端末(2)を開発するに当たって入力した上記パスワードを含む情報を保護するパスワード保持部(1-1)をそなえると共に、

上記端末利用者がシステムに対してジョブを投入するに当たって、上記パスワードを含む情報を記述しない一部欠陥ジョブ・コントロール・ランゲージを入力した際に、当該一部欠陥ジョブ・コントロール・ランゲージ中に、上記パスワード保持部(1-1)の内容にもとづいて、上記パスワードを含む情報を引継ぐパスワード引継ぎ機能をもうけ、

完結されたジョブを受付けるジョブ入力処理部(1-4)は、当該引継ぎの行われた結果のジョブ・コントロール・ランゲージにもとづいて上記チェックを行うようにした

ことを特徴とするパスワード自動付加処理方式。

3. 発明の詳細な説明

(概要)

ジョブ・コントロール・ランゲージ(JCL)上にパスワードを含む情報を記述しておいて、データセットが非所望に破壊されることなどを防止するようにされているデータ処理装置において、

上記パスワードを含む情報の記述を省略した一部欠陥JCLを端末利用者が書くようにし、データ処理装置内部で上記一部欠陥した情報を完結したJCLを作成し、処理に利用するようにし、上記パスワードを含む情報がディスプレイなどに表示されることのないようにしたことが開示されている。

(産業上の利用分野)

本発明は、パスワード自動付加処理方式、特に、データ処理装置内部で、JCL(ジョブ・コントロール・ランゲージ)上にパスワードを含む情報を自動的に付加するようにし、当該パスワードを含む情報が非所望にディスプレイ上に表示されることのないようにしたパスワード自動付加処理方式に関する。

(従来の技術)

一般に資源アクセス制御機能(機密保護機能や破壊防止機能など)をもつデータ処理システムで

- 3 -

ブのJCL上には利用人名及びパスワードを記述しておかないと、システムで資格チェック不能として、ジョブは異常終了となってしまふ。これら利用人名とパスワードをJCLに記述するということは、第3者からも見る事が可能ということである。厳密なる機密保護を行う上で問題となっている。

(問題点を解決するための手段)

本発明は上記の点を解決することを目的としており、SUBMITされたジョブのJCL上に利用人名及びパスワードが記述されていない一部欠陥JCLを用い得るようにし、当該一部欠陥JCLに対してTSS利用者の利用人名とパスワードを自動的に付加するようにしている。

第1図は、本発明の原理構成図を示す。図中1はデータ処理システム、1-1はTSSセッションを開設した時に利用者が宣言した利用人名とパスワードを格納するパスワード保持部、1-2はTSS制御プログラム、1-3はSUBMITコマ

は、資源名(データセット名など)、利用を許している利用人名及び利用者のパスワードを資源アクセス制御管理簿なるものに登録しており、JCL上に記述された利用人名及びパスワードが管理簿上のものと一致するか否かによって、そのジョブが当該資源にアクセスするに当たっての許可を与えたり、与えなかったりして、制御している。

パスワードは機密保護などを、より厳密に行わせることを可能とするためには、第3者の眼に触れない工夫をすべきである。

(発明が解決しようとする問題点)

TSS利用者がTSSセッションを開設する際には、利用人名とパスワードとを宣言(LOGONコマンドのパラメータとして投入する)するが、パスワード投入時にはTSS端末画面に表示されない方式が採用されているので、第3者の眼に触れるおそれはない。しかし、TSSセッション開設後、その端末からシステムに対しジョブを投入(SUBMITコマンドにて)する際にそのジョ

- 4 -

ンド・プログラム、1-4はジョブ入力処理部、2はTSS端末、3はTSS利用者がSUBMITしようとしているジョブのJCLが入っている直接アクセス記憶装置(DASD)、3-1はSUBMITしようとしているJCLを表している。

(作用)

TSS端末利用者は、TSS端末2より、SUBMITしたいジョブを画面で見ながら必要な編集をした後、SUBMITコマンドを入力してジョブを投入する。この時、SUBMITすべきジョブのJCLは上記一部欠陥JCLであり、当該一部欠陥JCLには利用人名及びパスワードは記述されていない(勿論記述していてもよい)。

SUBMITコマンド・プログラム1-3は、SUBMITすべきジョブのJCLが利用人名及びパスワードが指定されていない一部欠陥JCLであると、TSS利用者がセッション開設時に宣言した利用人名とパスワードをパスワード保持部1-1から読出してJCLに付加して、ジョブ入力処

理部1-4に完結した形でJCLを表す。

ジョブ入力処理部1-4では、与えられたJCLをもとにジョブ環境を作成し、ジョブとして、以降、当該システムで実行する。

なお上記における利用人名及びパスワードを付加する方法としては、JCLの書き直しを行う方法や隠しJCL(ジョブ文の前に置くなど)の方法などが考えられる。また上記においては、SUBMITコマンド・プログラム1-3において上記付加を行ったが、ジョブ入力処理部1-4側で当該付加を行うようにしてもよい。

(実施例)

第2図はLOGINコマンドによって利用人名及びパスワードを保持せしめる処理を説明する一実施例を示し、第3図はSUBMITコマンドによってジョブを投入する処理を説明する一実施例を示している。

第2図における符号1、1-4および2は第1図に対応している。システム内にはジョブ制御を

- 7 -

JCLであることが判定された場合、処理④'において、パスワード保持部1-1の内容にもとづいて、先に入力された一部欠陥JCL中に利用人名およびパスワードを記述して完結JCLを得る。

(発明の効果)

以上説明した如く、本発明によれば、ジョブ投入に当たって、一部欠陥JCLを用いることができるために、JCL記述時にパスワードなどの情報が第三者に見られてしまうことがない。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理構成図。第2図はLOGINコマンドによって利用人名及びパスワードを保持せしめる処理を説明する一実施例、第3図はSUBMITコマンドによってジョブを投入する処理を説明する一実施例を示している。

図中、1はデータ処理システム、2はTSS端末、1-1はパスワード保持部、1-2はTSS制御プログラム、1-3はSUBMITコマンド

を行うプログラムとしてジョブ入力処理部(JES-ジョブ・エントリ・システム)1-4が存在しており、(i)入力処理部、(ii)JCL解釈部、(iii)実行制御部、(iv)出力部という複数の処理段階に区分されている。そして、投入されたジョブは、上記入力処理部-JCL解釈部-……の順に逐次処理されてゆき、必要に応じて夫々の処理段階において次の処理段階へ移行するに当たって、待合わせキューによって待ち合わせさせられることがある。

第2図図示処理④のときにジョブ制御情報域に利用名やパスワードが設定され、第1図図示の如くパスワード保持部1-1に保持される。なお、図中の流れ図に示す①、②……は図中の右側に示す①、②……に対応している。

第3図において、符号1-1、1-4、2、3-1は第1図に対応しており、図中の流れ図に示す①'、②'……は図中の右側に示す①'、②'……に対応している。

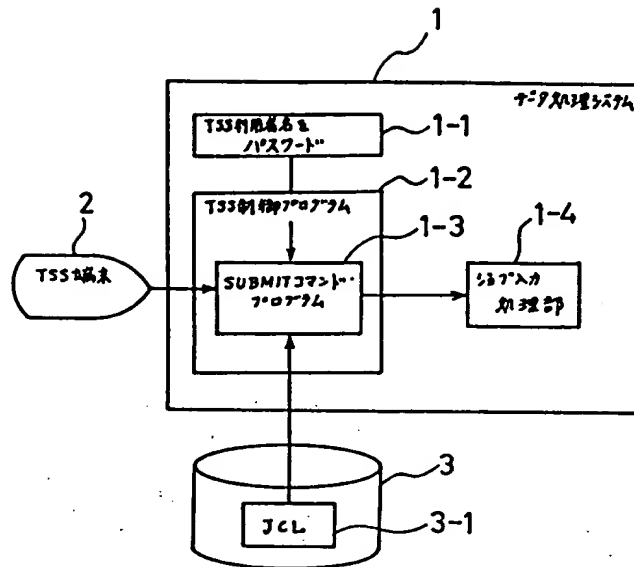
第3図図示処理④'において上述の一部欠陥J

- 8 -

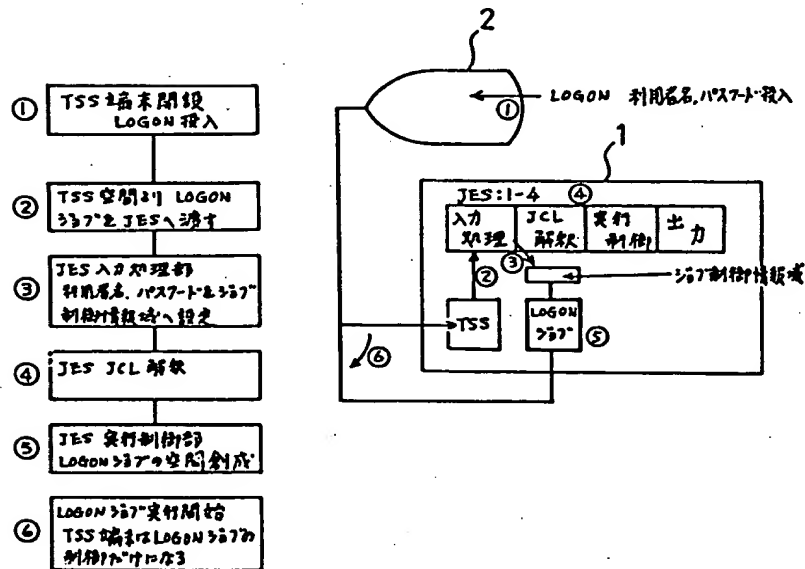
プログラム、1-4はジョブ入力処理部、3-1はJCL(一部欠陥)を表す。

特許出願人 富士通株式会社

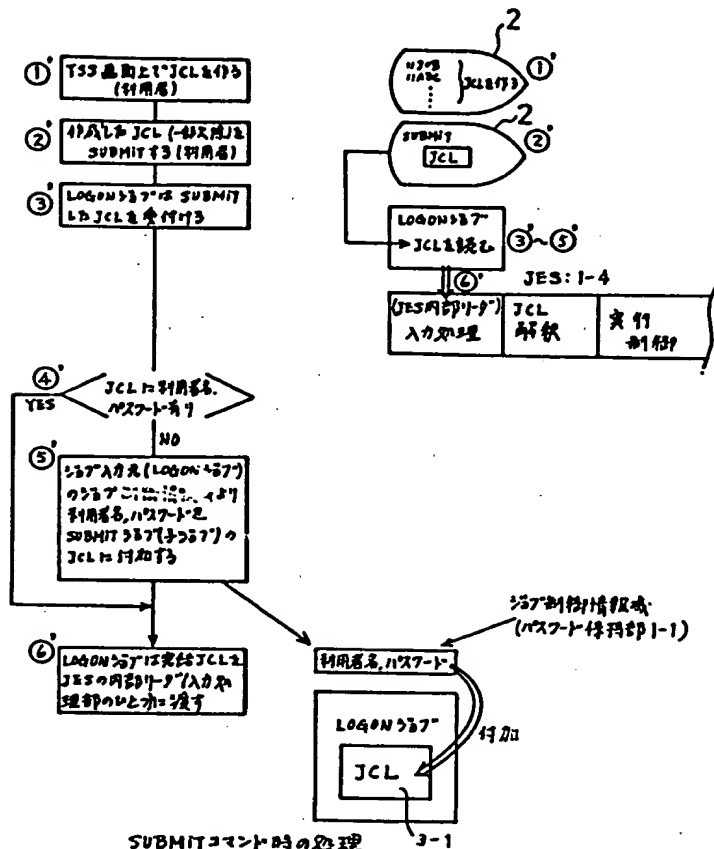
代理人 弁理士 森田 寛(外1名)



本発明の原理構成図
第 1 図



LOGON コマンド時の処理
第 2 図



SUBMIT コマンド時の処理
第 3 図